

9月15日(火曜日)「敵を愛せ(2)」

【新改訳 2017】

ルカ 6.31

「自分にしてもらいたいと望むとおり、人にもそのようにしなさい。」

マタイ 7.12

「それで、何事でも、自分にしてもらいたいことは、ほかの人にもそのようにしなさい。これが律法であり預言者です。」

これは「黄金律」と言われる言葉で、キリスト教倫理の要点です。

昔、ある著名なユダヤ教学者が、「あなた自身の憎むことを、あなたの隣人にしてはならない」と教えたそうです。しかし、主はもっと積極的に教えられたのです。それは、旧約聖書の教えの精神のことであり、「愛の動機」のことでした(マルコ 12.29-31)。

言うまでもなく、「自分にしてもらいたいこと」とは、利己的な考えの主張ではなく、正しい価値判断で愛に基づいた事柄を意味します。私たちは、「自分にこうしてもらっ

たらうれしい」あるいは「ありがたい」と思うことを、隣人にしているでしょうか。あるいは逆に、仕返しをしているのではないのでしょうか。もしそうならば、反省して祈りましょう。

～祈り～

主よ。人には、自分にしてもらいたいことを要求しますが、人にそのようにすることはなかなかできない者です。そうできる者にしてください。

【学びのために】

黄金律:クリスチャン倫理、つまり人間関係の基本。マタイ 7.12.